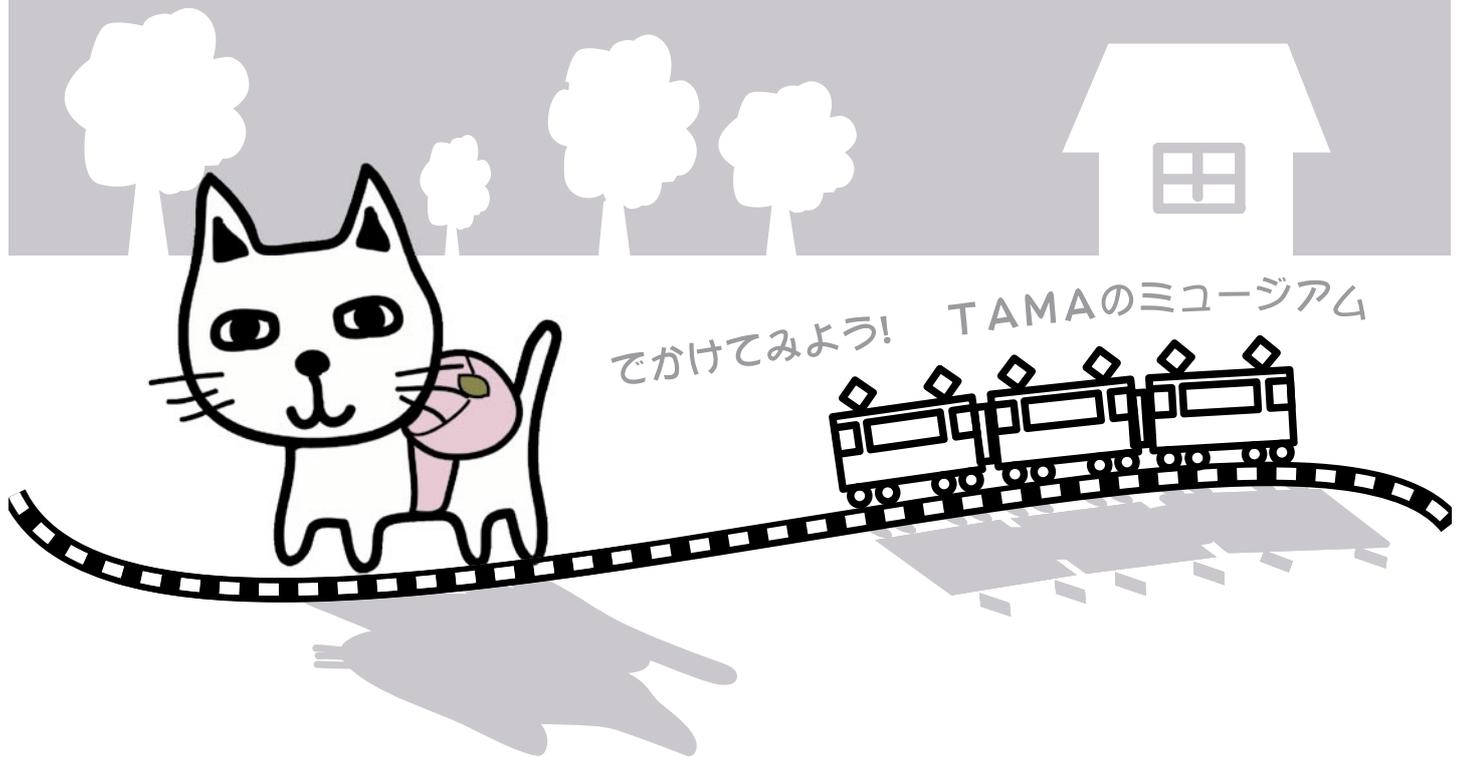


催し物案内2011年度秋・冬号
2011年10月～2012年3月

多摩の博物館さんぽ



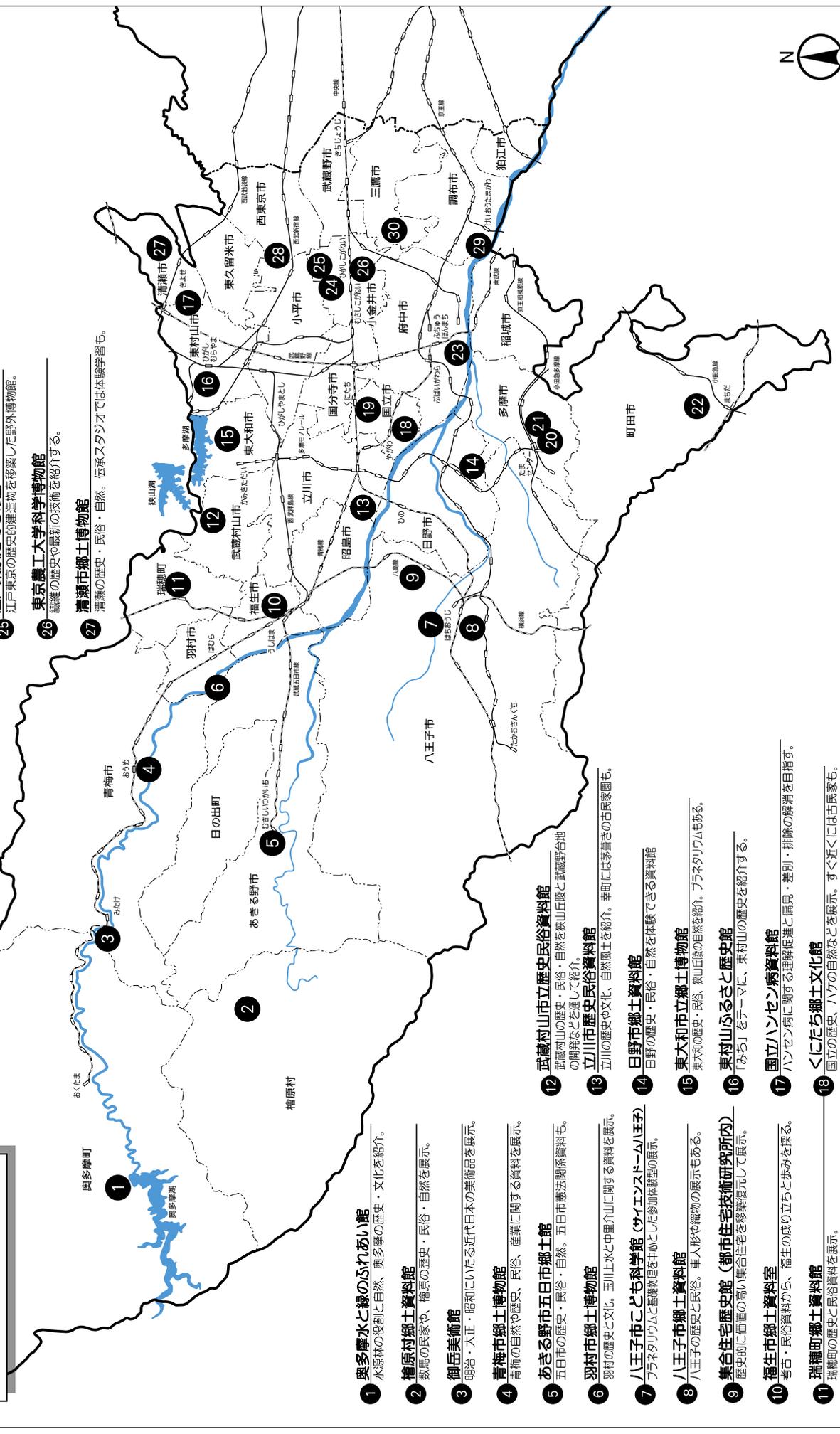
東京都三多摩公立博物館協議会(三博協)公式サイト
「多摩の博物館に行こう!」(<http://tamahaku.jp>)が
オープンしました。

ホームページには、多摩の博物館マップや、展示・イベ
ント情報などの案内が盛りだくさん!

博物館にお越しの際には、ぜひご覧ください。

出かけてみよう!

多摩の博物館 MAP



- 1 **奥多摩水と緑のふれあい館**
水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。
- 2 **檜原村郷土資料館**
数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。
- 3 **御岳美術館**
明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。
- 4 **青梅市郷土博物館**
青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。
- 5 **あさぎの野市五日市郷土館**
五日市の歴史・民俗・自然、五日市憲法関係資料も。
- 6 **羽村市郷土博物館**
羽村の歴史と文化、玉川上水と中里川に関する資料を展示。
- 7 **八王子市子ども科学館(サイエンスドーム/八王子)**
フラナタリウムと博物館を中心とした参加体験型の展示。
- 8 **八王子市郷土資料館**
八王子の歴史と民俗、車人形や織物の展示もある。
- 9 **集合住宅歴史館(都市住宅技術研究所内)**
歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。
- 10 **福生市郷土資料室**
考古・民俗資料から、福生の成り立ちと歩みを探る。
- 11 **瑞穂町郷土資料館**
瑞穂町の歴史と民俗資料を展示。

- 19 **たましん歴史・美術館**
多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。
- 20 **パルテノン多摩歴史ミュージアム**
多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。
- 21 **東京都埋蔵文化財センター**
都内各地の埋蔵文化財を展示、遺跡公園「縄文の村」も。
- 22 **町田市立博物館**
考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。
- 23 **府中市郷土の森博物館**
府中の歴史・民俗・自然、フラナタリウム、古民家も。
- 24 **小金井市文化財センター**
小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。
- 25 **江戸東京たてもの園**
江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。
- 26 **東京農工大学科学博物館**
繊維の歴史や最新の技術を紹介する。
- 27 **清瀬市郷土博物館**
清瀬の歴史・民俗・自然。伝承スタジオでは体験学習も。

- 28 **多摩六都科学館**
世界最大級のフラナタリウムドームと5つの展示室を持つ、参加体験型の科学館。
- 29 **調布市郷土博物館**
原始・古代から近・現代までの調布の歴史をたどる。
- 30 **国立天文台天文機器資料館**
日本の天文学の発展に貢献した明治以降の天文観測・測定機器、資料の展示。

- 12 **武蔵村山市立歴史民俗資料館**
武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。
- 13 **立川市歴史民俗資料館**
立川の歴史や文化、自然風土を紹介。幸町には茅葺きの古民家園も。
- 14 **日野市郷土資料館**
日野の歴史・民俗・自然を体験できる資料館。
- 15 **東大和市立郷土博物館**
東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。フラナタリウムもある。
- 16 **東村山ふるさと歴史館**
「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。
- 17 **国立ハンセン病資料館**
ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。
- 18 **くにたち郷土文化館**
国立の歴史、ハワの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。

1	奥多摩水と緑のふれあい館 (0428-86-2731)				
	水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。				
開館時間	9:30 ~ 17:00	休館日	水曜日 (祝日の場合は翌日) 12.28 ~ 1.4	入館料	無料
奥多摩の豊かな自然とダムとの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業等の紹介及び展示を映像等で分かりやすく紹介している。					
●秋の奥多摩ミニコンサート (11.19・20) 出演：都民交響楽団 (有志) ※公演は午前・午後各1回 計4回予定、11.19・20では演奏する楽器が異なります。					
●川野「車人形」上演 (平成24年3月(予定) ※実施の可否を含め調整中)					
【URL】 http://www.okutama.gr.jp					

2	檜原村郷土資料館 (042-598-0880)				
	数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。				
開館時間	4月～11月 9:30～17:00 (12月～3月は10:00～16:00)	休館日	火曜日 (祝日の場合は翌日)	入館料	無料
当館では「自然と観光」「歴史と民俗」の2つをテーマに景観や動植物、遺跡発掘時の出土品及び民具並びに兜式入母屋造りと呼ばれる古民家の模型などが常設されております。又、村の祭りを紹介するレーザーディスクや自然の移り変わり及び村の諸行事を収めたDVD「檜原歳時記」(ブルーレイ・ハイビジョン)の鑑賞が常時可能となっております。					
●常設展「村の自然と観光」「村の歴史と民族」					
●特別展「檜原村山野草標本展」(10.1～31) 檜原村内で採取した山野草の標本113点を展示する。					
●特別展「まゆ玉飾り」(1.12～16) 山から「つげ」の木を切ってきて神棚の前に立て、その枝に米粉で作った「団子」と「みかん」を刺し、麻の皮を細かく裂いたものを木に被せて飾り、家内安全と五穀豊穰を祈願した、村に古くから伝わる小正月の行事。(養蚕農家に伝わってきたものだが、現在は飾る民家はない。)					
●特別展「檜原村野鳥写真展」(2.9～3.8) 檜原村で撮れた野鳥の写真20点を展示する。					
【URL】 http://www.vill.hinohara.tokyou.jp					

3	御岳美術館 (0428-78-8814)				
	明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。				
開館時間	10:00～16:30 (11月～3月は16:00まで)	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	一般500円、高大生400円 小中生300円
●常設展示「日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち」 出品作家：荻原守衛、中村彝、中原悌二郎、曾宮一念、高村光太郎など					
●企画展示「近代美術の流れ—昭和後期の絵画」(10.2～2012.2.19) 出品作家：坂本繁二郎、小磯良平、宮本三郎、香月泰男など					
●倉田三郎記念室「旅の素描 スイスを描く」					
●スケッチの日 開館記念日 (11.3～5) 当日ご来館の方には、記念品をプレゼント!					
【URL】 http://www.tamashin.or.jp/mitake.html					

4	青梅市郷土博物館 (0428-23-6859)				
	青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日 (休日の場合は翌日) 年末年始 12.29～1.3	入館料	無料
●企画展「皇国地誌・西多摩郡村誌の世界」(～12.25) 明治時代の青梅の歴史、地理、物産等をまとめた「皇国地誌・西多摩郡村誌」について展示、紹介します。					
●企画展「青梅市の獅子舞展」(2012.1.7～3.25) 青梅市内には、都指定1件、市指定7件の無形民俗文化財の獅子舞が伝承されています。これら古式をよく伝える獅子舞について展示、紹介します。					
【URL】 http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.html					

5	あきる野市五日市郷土館 (042-596-4069)				
	五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料も。				
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日 (水曜日が祝日の場合は翌日も) 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「五日市線 86 周年軌道の歩み (仮)」(10.17～12.24) 大正 14 年開業の五日市鉄道時代から南武鉄道—日本国有鉄道—JR 五日市線までを写真等で振り返ります。 ●ミニ企画展「郷土の古文書 その 17 「闇婆菜種御請証文」」(9.1～12.24) 明和 4 年 (1767)、関東郡代伊奈備前守を通じて全国の幕領の村に配られた「闇婆菜種 (あきる野市方面ではのらぼう菜と呼ばれている)」の栽培の仕方や食用油の絞り方などが書かれた証文の写しを展示します。 ※のらぼう菜は花茎を折っても折っても脇目を次々と出す、旺盛な生命力をもっている野菜です。 【URL】 http://www.city.akiruno.tokyo.jp/contents_detail.php?co=cat&frmId=1285&frmCd=3-4-4-0-0 					

6	羽村市郷土博物館 (042-558-2561)				
	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日 (祝日の場合は開館) 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「カイクを大解剖!!～旧東京都蚕糸指導所資料より～」(～12.18) 旧東京都蚕糸指導所の寄贈資料から、カイクの品種改良と養蚕を中心にいろいろな角度からカイクを紹介します。 ●季節展示「お正月かざり」(2012.1.4～1.15) 羽子板や破魔矢などを展示します。 ●季節展示「まゆ玉かざり」(2012.1.8～1.15) まゆに見立てただんごを木にかざって、まゆの豊作をねがう新年の行事を再現します。 ●企画展「むかしのくらし」(2012.1.10～1.22) 小学 3 年生の郷土学習週間に合わせ、昔の道具や暮らしについて紹介します。 ●企画展「ひな人形展」(2012.2.1～3.11) いろいろな時代のひな人形を展示します。 【URL】 http://www.city.hamura.tokyo.jp/category/6-0-0-0-0.html 					

7	八王子市こども科学館 (サイエンスドーム八王子) (042-624-3311)				
	プラネタリウムと基礎物理を中心とした参加体験型の展示。				
開館時間	10:00～17:00 (ただし火～金曜 9:00～12:00 は団体専用で開館)	休館日	月曜日、祝日の翌日。 年末年始など	入館料	大人 200 円 4 歳～中学生 100 円(観覧料別途必要)
<ul style="list-style-type: none"> ●プラネタリウム投影番組「キッズプラネタリウム」、「ポケットモンスター BW 光と影のテンキュウギ」、「ディープワンダー～宇宙と深海のはるかな旅～」、「銀河鉄道の夜」(10.15～2012.1.9) “今夜の星空解説” もあります。 ●観望会 星空観望会 (11.5、2012.2.4、3.3) 昼間の天体観望会 (10.10) ●天文講座 (10.2) ●星空コンサート (10.1、11.12、12.17、2012.2.18) ●Nゲージ鉄道模型走行実演会、地下鉄電車「流星号」運転室公開 (10.9・10) ●H0ゲージ鉄道模型走行実演会 (11.19・20) ●パソコン教室 こどもパソコン教室「年賀状を作ろう」(11.5)、親子ゲームプログラミング教室 (11.27) ●科学工作教室、科学実験ショー、かんたん工作室など (土・休日開催) 【URL】 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/gakushu/sciencedome 					

8	八王子市郷土資料館 (042-622-8939)				
	八王子の歴史と民俗。車人形や織物の展示もある。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日)、 祝日の翌日、年末年始、 その他館内整理日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「高尾山薬王院の奉納額」(9.16～10.23) 高尾山薬王院より寄託された奉納額の一部を展示します。 ●特別展「八王子の絵図」(10.30～12.18) 八王子に残っている絵図で江戸時代のものを中心に展示します。 ●特別展「八王子と鉄道」(2012.2.7～3.27) 甲武鉄道以来の中央線や京王線など、八王子に敷設されたさまざまな鉄道に関する資料を展示します。 【URL】 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/rekishibunkazai/kyodoshiryokan/index.html 					

9	集合住宅歴史館 (独立行政法人都市再生機構技術研究所) (042-644-3751)				
	歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。				
開館時間	13:30～16:30	休館日	土曜日～月曜日、祝日 第 1、第 3 金曜日、年末年始	入館料	無料 ※事前予約制
<ul style="list-style-type: none"> ●展示会・催し物案内など 日本住宅公団昭和 30 年代の団地や同潤会アパートなどを移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。併設の研究施設も一部見学可能です。※事前予約制。予め電話かホームページで。 ●2010 年 7 月 1 日より「都市住宅技術研究所」から「技術研究所」と改称いたしました。 【URL】 http://www.ur-net.go.jp/rd 					

10	福生市郷土資料室 (042-530-1120)				
	考古・民俗資料から、福生の成り立ちと歩みを探る。				
開館時間	10:00～17:00	休館日	毎週月曜日（祝日の場合は翌日休館）	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展示「福生周辺の鳥たち～鳥の暮らしと多様性～」(10.4～12.4) NPO法人自然環境アカデミーの協力を得て、福生市周辺に生息する鳥たちについて紹介します。11.3には展示解説会も行います。 ●企画展示「ミキノクチ展（仮称）」(12.10～2012.2.5) お正月の飾り物であるミキノクチと、その製作技術を紹介しします。 ●特別展示「錦絵展（仮称）」(2012.2.11～4月中旬) 昨年度の展示に続き、昨年展示できなかった資料を中心に江戸時代から明治時代にかけて製作された錦絵などを展示します。展示期間中に記念講演会も行います。 					
【URL】 http://www.museum.fussa.tokyo.jp					

11	瑞穂町郷土資料館 (042-568-0634)				
	瑞穂町の歴史と民俗資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日、毎月16日 (16日が月曜日の場合は17日) 祝日、12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「みずほはたおり探検隊 作品展」(10.28～11.26) 資料館では郷土の伝統織物「村山大島紬」を題材に体験教室を実施しています。参加者に制作してもらった様々な織物・染色作品を展示します。 ●企画展「昭和20年代の我が町（村）の暮らしー当時の日光街道をゆくー」(11.8～2012.1.31) 昨年度は町制施行70周年記念として、町制施行当時（昭和15年）の青梅街道を中心に特集した企画展を実施しました。今年度は第二弾として日光街道沿いの歴史について紹介します。 ●企画展「瑞穂第三小学校林の動植物」(冬季予定) 資料館では毎年町内の動植物調査を行っています。今年度は小学校に附属する平地林の動植物を調査対象とし、その成果を報告します。 					
【URL】 http://www.town.mizuho.tokyo.jp/shisetsu/kyoudo-tosyo.html					

12	武蔵村山市立歴史民俗資料館 (042-560-6620)				
	武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日） 12.28～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「武蔵村山の弥生時代」(10.8～12.18) ●文化財見学会「弥生時代～古墳時代をめぐる」(10.22) ●歴史講座「弥生時代を語る」(11.26) ●年中行事展「正月飾り」(12.23～2012.1.15)、「桃の節句」(2012.2.4～3.4) ●ミニ企画展「武蔵村山の戦争資料」(2012.3.10～3.20) ●自然観察会「(仮題)早春の鳥たち」(来年3月中旬ごろを予定) 					
【URL】 http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html					

13	立川市歴史民俗資料館 (042-525-0860)				
	立川の歴史や文化、自然風土を紹介。幸町には茅葺きの古民家園も。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.28～1.4	入館料	無料
<p>原始～近・現代の立川、自然、くらしと道具に関する資料を紹介する常設展示。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企画展「役場文書と砂川村」(11.1～12.18) 協働研究として実施している旧砂川村役場文書整理調査の途中経過を、一部の役場文書とともに紹介。 ●東京文化財ウィーク2011 関連事業「銅鉦鼓」(10.29～11.30) 立河原合戦を実証する銅鉦鼓の展示。 ●ミニ展示「桃の節句展」(2012.2.4～3.4) 幸町の古民家でも展示。 ●企画展「新収藏品展」(2012.3.10～4.15) 今年度新たに収蔵された資料を紹介。 					
【URL】 http://www.city.tachikawa.lg.jp/cms-sypher/www/section/detail.jsp?id=154					

14	日野市郷土資料館 (042-592-0981)				
	日野の歴史・民俗・自然を体験できる資料館。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「新聞記事で見る日野市のあゆみ 50年ー2011」(～12.11) ●企画展「童謡たきび70年記念展」(12.17～2012.1.22) 童謡「たきび」と作詩者巽聖歌について。 ●企画展「くらしの道具今・昔、新収蔵品展」(2012.1.28～3.18) ※企画展会場：郷土資料館 ●第二回「幻の真慈悲寺を追って」特別展『真慈悲寺と百草観音堂ー時代を越えて育まれた仏像群ー』(10.12～12.18) 日野市百草地域の中世から近世の歴史遺産を紹介します。※特別展会場：新選組のふるさと歴史館、入館200円 ●「童謡たきび70年記念展」(11.15～27) ※展示会場：とよだ市民ギャラリー 					
【URL】 http://www.city.hino.tokyo.jp/museum					

15	東大和市立郷土博物館 (042-567-4800)				
	東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムもある。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料 (プラネタリウムは有料)
<ul style="list-style-type: none"> ●野草スケッチ展「植物画を描く」(10.22～12.11) ●史跡めぐり～小さな文化財見て歩き(10月) ●自然観察会/空堀川の鳥たち(10.9)/どんぐり工作を楽しむ(10.23)/野草教室(11月)/バードウォッチング(12月) ●昼間の星の観察会(11.27)/星空観察会(12.3)/昼間の星の観察会(1.29) ●プラネタリウム/秋番組(～12.11)/冬番組(12.17～2012.3.11)/クリスマス特別番組(12月) 					
【URL】 http://www.city.higashiyamato.lg.jp					

16	東村山ふるさと歴史館 (042-396-3800)				
	「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。分館に八国山たいけんの里もある。				
開館時間	9:30～17:00(入館は16:30まで)	休館日	月・火曜日(ただし、祝祭日が重なった場合は開館し、他の日に振替)	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「狭山丘陵からみた古代の東村山ー瓦塔の建つ風景」(10.8～12.18) 水の乏しい武蔵野台地にあって、オアシスである孤島のように浮かぶ狭山丘陵は、古代の旅人にとってのランドマークでもありました。この狭山丘陵を中心として、仏教遺跡や東山道武蔵路などをからめ東村山周辺の古代遺跡を紹介します。 ●企画展付随特別講演会(10.15) 演題：古代の東国と武蔵、講師：吉村武彦(明治大学大学院長) ●学校対応展示「なつかしい暮らしと道具たち」(2012.1.13～3.4) 毎年歴史館を訪れる市内の小学校3年生の「昔さがし」のための展示を行います。市内の家庭から収集された昔の道具を展示しています。 ◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 / 042-390-2161 / http://172.31.16.22/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/index.html ※休館日 毎週月・火曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館) 					
【URL】 http://172.31.16.22/tanoshimi/rekishi/furusato/index.html					

17	国立ハンセン病資料館 (042-396-2909)				
	ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。				
開館時間	9:30～16:30(入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●秋季企画展「たたかいつづけたから、今があるー全療協60年のあゆみー」展(10.1～12.27) 全療協(全国ハンセン病療養所入所者協議会)は、1951(昭和26)年1月に結成されて以来、半世紀以上に渡る患者運動の歴史を重ね、その運動の成果は今日の療養所の姿を形作ってきた。本企画展では、全療協結成から現在の将来構想実現の取り組みまでを、主に写真と当時を知る方のお話とで追う。会期中、連続講演会も予定している。 					
【URL】 http://www.hansen-dis.jp					

18 くにたち郷土文化館 (042-576-0211)
 国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。

開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2、第4木曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
------	----------------------------	-----	---------------------------------	-----	----

●秋季特別展「関頑亭～谷保から国立へ～」(10.8～11.13)
 郷土の芸術家、関頑亭氏の展示を行います。作家の原点となる多摩の風景画や脱活乾漆造の彫刻、また文化人との交友を紹介。※観覧料一般500円、団体400円、中学生以下・しょうがい者とその介護者1名は無料
 ●「むかしのくらし展」(仮)(2012.1.13～3.5)むかしの道具や暮らしについて展示します。※観覧無料
 ●古民家伝統行事・体験教室 わら細工教室(しめ縄飾り)、繭玉飾り、豆まき、菱餅作り、などを予定しております。
 【URL】<http://www.kuzaidan.com/province/index.html>

19 たましん歴史・美術館 (042-574-1360)
 多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。

開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日 年末年始	入館料	100円
------	-----------------------------	-----	----------------	-----	------

●東洋古陶磁展Ⅰ「日本の古陶磁」(9.13～10.16)、ギャラリートーク(10.15 14:00～)
 ●東洋古陶磁展Ⅱ「中国・朝鮮の古陶磁」(11.1～12.11)、ギャラリートーク(12.3 14:00～)
 ●たましん収蔵作品展(2012.1.6～3.25) 【URL】<http://www.tamashin.or.jp>

20 パルテノン多摩歴史ミュージアム (042-375-1414)
 多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。

開館時間	10:00～18:00	休館日	不定休(10.12・13、11.16・17、12.27～1.3、1.17～19、2.21～23、3.13・14)	入館料	無料
------	-------------	-----	--	-----	----

●企画展「多摩の橋立ー橋から眺める地域史ー」(～11.15)
 多摩市や多摩ニュータウンにはどのような橋があり、どんな歴史を持っているのでしょうか。街と橋の関係と歴史を紹介します。
 ●企画展「消えた寺が語るものー多摩市の廃寺と寿徳寺の周辺ー」(11.18～2012.3.12)
 多摩市の寿徳寺周辺の廃寺や庵の跡を中心に、多摩地域の廃寺について考えます。※関連講座あり。
 ●連続講演(2012年・全5回予定)
 ●みんなの植物観察会(全10回火曜日)、植物観察会ステップアップコース(全8回木曜日)
 【URL】<http://www.parthenon.or.jp/museum> 【ツイッター】http://twitter.com/par_tama_museum

21 東京都埋蔵文化財センター (042-373-5296)
 都内各地の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」も。

開館時間	9:30～17:00	休館日	年中無休	入館料	無料
------	------------	-----	------	-----	----

●縄文食体験(10.15～16) ●縄文の村自然観察会②(10.26)、●縄文アクセサリー教室(10.29、11.26、2012.1.28、2.25、3.31) ●古代布作り教室(11.23、2012.1.21) ●貝輪作り教室(12.3、2012.2.4) ●文化財講演会(11.12、12.10、2012.2.8、2.15、2.22) ●映像上映会(2012.1.28、2.25、3.31) ●発掘調査発表会(2012.3.24)
 ●展示説明会(2012.3.17 午前・午後各1回)
 【URL】<http://www.tef.or.jp/maibun>

22 町田市立博物館 (042-726-1531)
 考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。

開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 展示替期間 資料整理期間	入館料	無料
------	------------	-----	-------------------------------	-----	----

●「江戸切子ー日本のカットガラスの美と伝統ー」(10.8～11.27)
 日本の切子は江戸時代後期から作られ始めたと言われ、現在「江戸切子」は国の伝統的工芸品に指定されています。本展覧会では江戸時代から現代にいたる日本の切子とその源流にあたるヨーロッパのカットガラス約250点に加え、現代の切子の工具も合わせてご紹介します。
 ●「笑いの中に～幕末・明治の戯画・風刺画」(12.6～2012.1.15)
 幕末から明治は、安政の大地震・文久の麻疹大流行・江戸幕府から明治政府への政権交代・文明開化等々、大変事が続きました。浮世絵師達はそうした世情を笑いや風刺を込め描き、人々もこれを喝采し買い求めました。故田河水泡氏寄贈資料を中心とした、館蔵幕末・明治の戯画・風刺画をお楽しみください。
 ●「裁縫雛形」(仮)(2012.1.24～3.11)
 2009年度に整理を行った館蔵民俗資料の中から裁縫雛形にスポットをあて、神奈川大学日本常民文化研究所からの借用品とともに展示します。
 ●「本町田遺跡公園リニューアル・オープン記念ー本町田遺跡と町田の縄文時代ー」(2012.3.20～5.13 予定)
 本町田遺跡出土の土器・石器30件および町田市内から出土した縄文時代の土器・石器を展示します。
 【URL】<http://www.city.machida.tokyo.jp>

23	府中市郷土の森博物館 (042-368-7921)				
	府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3、年末年始 その他臨時休館、開館日あり	入館料	大人 200円 4歳～中学生 100円
<p>●特別展 あしもとネイチャーワールド「冬鳥来訪ー渡り鳥ってナンダ?ー」(2012.1.28～3.11) 府中周辺の冬鳥を剥製標本で紹介するとともに、渡り鳥の生態について考えます。</p> <p>●企画展「大西浩次 星景写真展ー時空の彩ー」(~12.4)</p> <p>●企画展「影山昇写真展 野鳥の瞬間」(12.17～2012.4.8)</p> <p>●プラネタリウム秋番組(~12.4)、冬番組(12.10～2012.3.11)「スターリーテイルズー星座は時をこえてー」</p> <p>●府中市農業まつり(11.19・20)</p> <p>●郷土の森梅まつり(2月～3月上旬)園内に咲き乱れる梅の花をお楽しみください。</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html</p>					

24	小金井市文化財センター (042-383-1198)				
	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3 館内整備のための臨時休館日	入館料	無料
<p>当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。</p> <p>●企画展「小金井市の指定・登録文化財」(11.1～12.25)</p> <p>●講演会「文化財と科学」講師:東京学芸大学教授 二宮修治氏(11.5 10:00～12:00)</p> <p>●市内文化財めぐり「野川とはげ周辺」(11.12 9:00～12:00)</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://tamahaku.jp/kojin</p>					

25	江戸東京たてもの園 (042-388-3300)				
	江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。				
開館時間	9:30～16:30 (入園は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.28～1.4	入館料	大人400円、中(都外)高生200円、 大学生320円、65才以上の方200円、 小中(都内)無料
<p>●収藏品展「武蔵野の歴史と考古学」展(10.1～11.27)、「万徳旅館完成記念」展(仮)(2012.1.14～4.8)</p> <p>●東京大茶会2011(10.1・2)、体験!発見!職人さん(10.8・9)、万徳旅館公開記念「旅のお楽しみ 奥多摩・諸国“うまいもの物産市”」(10.29・30)、紅葉とたてものライトアップ(11.25～27)、正月飾りづくり(12.10・11)、正月遊び(2012.1.7・8)、はらっぱ大会(2012.2.11・12)、春先キモノ日和(2012.3.24・25)</p> <p>●ミュージアムトーク(10.22・11.26・12.24・2012.1.28・2.25・3.24)</p> <p>●伝統工芸の実演(10.15・16、11.12・13、12.10・11、2012.1.7・8、2.11・12、3.24・25)</p> <p>●武蔵野えどまる団(10.15・16、11.19・20、12.17・18、2012.1.14・15、2.11・12、3.17・18)</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.tatemonoen.jp</p>					

26	東京農工大学科学博物館 (042-388-7163)				
	繊維技術・製品の歴史や、本学学術資料の紹介。科学博物館友の会 伝統工芸会による活動。				
開館時間	10:00～17:00	休館日	日・月曜日(ただし、平成24年3月31日まで休館)	入館料	常設展無料
<p>●東京農工大学科学博物館は、今年度耐震工事を伴う改修工実施のため、現在下記の期間で休館とさせていただきます。</p> <p>休館期間:平成23年7月15日(金)～平成24年3月31日(土)</p> <p>●子供科学教室 第1回「豊かな心を育む脳」(10.8 10:00～12:00)、第2回「コンピュータ パートI」(11.26 10:00～12:00)、第3回「コンピュータ パートII」(12.10 10:00～12:00)</p> <p>※実施会場は3回とも本学小金井キャンパス内の施設の予定です。</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.tuat.ac.jp/~museum</p>					

27	清瀬市郷土博物館 (042-493-8585)				
	清瀬の歴史・民俗・自然。伝承スタジオでは体験学習も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●企画展「じいちゃの見たもの描いたものー熊谷元一回顧展ー」(10.8～23) 平成22年11月に逝去した「じいちゃ」こと、写真家・童画家の熊谷元一氏。遺された多くの作品は、昭和から平成にいたる時代の移り変わりが克明に刻まれた記録であるとともに、氏の温かな人柄を彷彿とさせます。写真・童画作品を通してその生涯を振り返り、「じいちゃ」を偲ぶ企画展です。</p> <p>●企画展関連事業 記念講演会「かるやかな歓びのテクネー 熊谷元一の世界」(10.15 13:30～) 社会やメディアの変化と関連付けて熊谷元一氏の活動や業績を研究されてきた矢野敬一氏(静岡大学教授)に、熊谷氏とのエピソードを交えながら写真・童画作品の背景についてお話しいただきます。</p> <p>●第27回清瀬美術家展(11.12～20) 清瀬市内在住・在勤の美術家による絵画・版画・彫刻作品を展示します。</p>					
【URL】 http://www.city.kiyose.lg.jp					

28	多摩六都科学館 (042-469-6100)				
	《緑と生活の調和》を実現する科学・技術を紹介する生涯学習施設。				
開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 祝日の翌日※11.14は開館 年末年始(12.29～1.3) 保守点検のための臨時休館日	入館料	大人500円、 小人200円(4歳～高校生)
<p>●第11回日本万華鏡大賞・多摩展(10.8～11.6) 科学の作り出す美しい芸術作品をお楽しみください。</p> <p>●プラネタリウム「解説員による生解説ーあの時の星空をもう一度見てみよう」(9.3～10.30) 星空紹介とあわせて、開館以来17年間に話題となった天文現象を再現します。</p> <p>●全天周映画「アラスカ」(9.21～10.30) 「ウルトラ70映写機」で映し出す最後の70mmフィルム映像番組です。世界最大級のドームスクリーンに映し出されるアラスカの自然をお楽しみください。※プラネタリウムドームは平成23年11月初めから、リニューアル工事に入るため、プラネタリウムと全天周映画の上映は、10月30日までとなります。</p>					
【URL】 http://www.tamarokuto.or.jp					

29	調布市郷土博物館 (042-481-7656)				
	原始・古代から近・現代までの調布の歴史をたどる。				
開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●企画展「下原・富士見町遺跡の調査」(10.29～12.4) 明治大学の附属校建設の際に調査された陸軍時代の調布飛行場の掩体壕や退避壕、戦後、米軍に接収された時期を語る出土品(洋食器やコーラの瓶など)から地域の歴史を紹介します。</p> <p>●企画展関連講演会「明大キャンパスの戦争遺跡」①「陸軍登戸研究所ー戦争の記録と記憶・保存と活用」②「発掘資料から見た調布飛行場の戦中・戦後」(11.6)※会場は、調布市文化会館たづくりです。</p> <p>●郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」(12.23～2012.4.15)</p>					
【URL】 http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html					

30	国立天文台天文機器資料館 (0422-34-3600)				
	日本の天文学の発展に貢献した明治以降の天文観測・測定機器、資料の展示。				
開館時間	10:00～17:00	休館日	年末年始(12.28～1.4)	入館料	無料
<p>●2011年度国立天文台常時公開 国立天文台では、構内施設の一部を無料で常時公開しています。2011年4月からは、展示室を新しい場所に移し、充実させました。 また、第2金曜日、第4土曜日には観望会(無料:予約不要)、4次元シアター(無料:予約が必要)の公開も行っています。また2011年6月からガイドツアー(無料:予約が必要)を始め、第1、3火曜日13時30分～15時:登録文化財コース、第2、4火曜日13時30分～15時:重要文化財コースがあります。 当日の前の週の月曜日～木曜日にインターネット、FAX、往復はがきで受け付けています。団体見学の場合には、電話0422-34-3866にお問い合わせの上申し込んでください。</p>					
【URL】 http://www.nao.ac.jp					

三多摩公立博物館協議会加盟館一覽

No.	館名	住所	電話	交通
1	奥多摩水と緑のふれあい館	〒198-0223 東京都西多摩郡奥多摩町原5	0428-86-2731	JR青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	〒190-0211 東京都西多摩郡檜原村3221	042-598-0880	JR五日市線「武蔵五日市駅」から小岩行きか藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	御岳美術館	〒198-0173 東京都青梅市御岳本町1-1	0428-78-8814	JR青梅線「御嶽駅」下車徒歩20分
4	青梅市郷土博物館	〒198-0053 東京都青梅市駒木町1-684	0428-23-6859	JR青梅線「青梅駅」下車徒歩12分
5	あきる野市五日市郷土館	〒190-0164 東京都あきる野市五日市920-1	042-596-4069	JR五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩17分
6	羽村市郷土博物館	〒205-0012 東京都羽村市羽741	042-558-2561	①JR青梅線「羽村駅」西口下車徒歩20分 ②東口コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	八王子市子ども科学館 (サイエンスドーム八王子)	〒192-0062 東京都八王子市大横町9-13	042-624-3311	JR中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩2分。
8	八王子市郷土資料館	〒192-0902 東京都八王子市上野町33	042-622-8939	JR中央線「八王子駅」南口からバス「上野町三丁目」下車
9	集合住宅歴史館(独立行政法人 都市再生機構 技術研究所)	〒192-0032 東京都八王子市石川町2683-3	042-644-3751	①JR八高線「北八王子駅」下車徒歩10分②JR八王子駅より大和田、東海大学病院経由 宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩5分
10	福生市郷土資料室	〒197-0003 東京都福生市熊川850-1	042-530-1120	JR青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩7分
11	瑞穂町郷土資料館	〒190-1211 東京都西多摩郡瑞穂町石畑1962	042-568-0634	JR八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩20分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館	〒208-0004 東京都武蔵村山市本町5-21-1	042-560-6620	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩1分
13	立川市歴史民俗資料館	〒190-0013 東京都立川市富士見町3-12-34	042-525-0860	JR中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車徒歩5分
14	日野市郷土資料館	〒191-0042 東京都日野市程久保550	042-592-0981	①多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩5分②モノレール「程久保」下車徒歩7分
15	東大和市立郷土博物館	〒207-0031 東京都東大和市奈良橋1-260-2	042-567-4800	西武拝島線「東大和市駅」からイオンモール行きバス「八幡神社」下車徒歩2分
16	東村山ふるさと歴史館	〒189-0021 東京都東村山市諏訪町1-6-3	042-396-3800	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩8分
17	国立ハンセン病資料館	〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13	042-396-2909	西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅行き・所沢駅行き」で約10分(「ハンセン病資料館」で下車)
18	くにたち郷土文化館	〒186-0011 東京都国立市谷保6231	042-576-0211	JR南武線「矢川駅」下車徒歩8分
19	たましん歴史・美術館	〒186-8686 東京都国立市中1-9-52	042-574-1360	JR中央線「国立駅」南口前
20	パルテノン多摩 歴史ミュージアム	〒206-0033 東京都多摩市落合2-35	042-375-1414	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
21	東京都埋蔵文化財センター	〒206-0033 東京都多摩市落合1-14-2	042-373-5296	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
22	町田市立博物館	〒194-0032 東京都町田市本町田3562	042-726-1531	小田急線・JR横浜線「町田駅」から藤の台団地行きバス「市立博物館前」下車徒歩7分
23	府中市郷土の森博物館	〒183-0026 東京都府中市南町6-32	042-368-7921	京王線・JR南武線「分倍河原駅」から京王バス郷土の森総合体育館行きバス「郷土の森正門前」下車
24	小金井市文化財センター	〒184-0003 東京都小金井市緑町3-2-37	042-383-1198	JR中央線「武蔵小金井駅」北口からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車徒歩5分
25	江戸東京たてもの園	〒184-0005 東京都小金井市桜町3-7-1	042-388-3300	JR中央線「武蔵小金井駅」北口からバス7分「小金井公園西口」下車
26	東京農工大学科学博物館	〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16	042-388-7163	JR中央線「東小金井駅」南口下車徒歩9分
27	清瀬市郷土博物館	〒204-0013 東京都清瀬市上清戸2-6-41	042-493-8585	西武池袋線「清瀬駅」北口下車①徒歩10分②駅前バス乗場1番から西武バス乗車「郷土博物館入口」下車徒歩1分
28	多摩六都科学館	〒188-0014 東京都西東京市芝久保町5-10-64	042-469-6100	①西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩18分②西武新宿線「田無駅」北口よりはなバス多摩六都科学館行き
29	調布市郷土博物館	〒182-0026 東京都調布市小島町3-26-2	042-481-7656	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩4分
30	国立天文台天文機器資料館	〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1	0422-34-3600	中央線武蔵境駅南口から小田急バス「狛江駅行き」天文台前下車、京王線調布駅北口から小田急バス「武蔵境駅南口行き」天文台前下車